

●解剖学第2講座 Department of Histology

1. 所属構成員等

教授 辻村麻衣子
准教授 横須賀宏之
講師 熊倉雅彦, 片桐浩樹(併任)

2. 研究テーマ

1. 味蕾の形態形成に関する免疫組織化学的・微細形態学的解析 Immunohistochemical and fine structural analyses on the taste buds and its morphogenesis.
2. 味蕾の形態形成機構と神経発生との相関性に関する免疫組織化学的研究 Immunohistochemical investigation on the relationship between morphogenesis of the taste buds and neurogenesis.
3. TH 内分泌攪乱による新規有害性影響の探索 Search for new substance under the influence of thyroid hormon.
4. インプラント周囲骨の生物学的安定性に関する組織学的研究 Histological study on biological stability of the bone surrounding an implant
5. 骨造成, 骨膜の伸展における骨形成の評価 Evaluation of bone formation induced by bone augmentation and periosteal distraction
6. 垂直的骨欠損に対しての骨造成とインプラント同時埋入の評価 Evaluation of vertical augmentation and simultaneous implant placement in atrophic alveolar ridges
7. 骨造成やインプラント植立におけるコラーゲンメンブレンの有効性の検証 Evaluation of effectiveness of collagen membrane for bone augmentation and implantation
8. 骨造成における人工骨の比較研究 Comparative study of bone substitutes on bone augmentation
9. カンジダバイオフィームと口腔含嗽薬との関連 Activity of mouth rinsing solutions on Candida biofilms
10. 高齢者における口腔機能に関する臨床研究 Clinical study on oral function in older adults

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

学会賞

記載事項なし

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

1. 猪子修平, ラットの味蕾におけるⅡ型細胞とⅢ型細胞の特性を示す細胞の存在;免疫組織化学的・電子顕微鏡的研究, 2024年2月22日, 日本歯科大学

5. 主催学会等

1. 第24回両生類自然史フォーラム, 和歌山県海草群紀美野町, 2023年7月1~2日, 準備委員・熊倉雅彦

6. 国際交流状況

1. 辻村麻衣子は先端研究センターの中原 賢らとともに、2012年11月からスイス・ベルン大学 頭蓋顎顔面外科学講座と「骨造成に関する組織学的解析」の共同研究を行っている。
2. 片桐浩樹は2018年9月からスイス・ベルン大学歯学部口腔微生物学教室Prof. Eickと「Candida バイオフィームと口腔含嗽薬」の共同研究を行っている。

7. 外部研究費

1. 環境研究総合推進費(独立行政法人 環境再生保全機構), (新規), 2023~2025, 自発性摂餌開始前メダカ仔魚を用いた甲状腺ホルモン系内分泌攪乱作用の新規 in vivo スクリーニングと有害性評価法の検討:生態リスク評価のための両生類試験との相関性, 小林亨(代表), 熊倉雅彦(分担), 60000000円
2. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), (継続), 2020~2023年度, インプラント治療における味覚変化メカニズムの解明, 辻村麻衣子 (羽下麻衣子)(代表), 今井あかね, 中原 賢(分担), (延長のため)0円

8. 研究業績

A. 著書

1. 辻村麻衣子 (分担): インプラント周囲骨の形成と骨リモデリング. 前田健康・網塚憲生・中村浩彰: 口腔組織・発生学. 第3版, 医歯薬出版, 東京, 2023, 22-25. ISBN978-4-263-45676-7.

B. 原著

1. Haga-Tsujimura M, Nakahara K, Igarashi K, Kobayashi E, Katagiri H, Saulacic N. Implant Placement Using the Bone Ring Technique With and Without Membrane Placement: A Preclinical 12-Month Study in Dogs. ☆◎J Oral Implantol. 2023; 49: 187-196. doi : 10.1563/aaid-joi-D-21-00220.

C. 解説・総説

記載事項なし

D. 報告・紀要

特記事項なし

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

G 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし